

会費振込先 第一勧銀川崎支店東北大学ワグネルOB会 普通口座(370-1881604)

20年ぶりの再会

第7期(昭和43年卒) 上田 俊朗

今年の6月3日、卒業20周年を記念して、遠刈田温泉で開いた。集合場所は、見違えるほど立派になった仙台駅構内の喫茶店「オールデイズ・カフェ」。三々五々集まってくる同期生。外見はお互いすぐに分かる程度の変りようだけ(かな?)。鈴木禄弥先生ご夫妻も同乗され、マイクロバスでワイワイガヤガヤ騒ぎながら、一路遠刈田温泉へ。

恒例となっている新橋の新橋亭での新年会で、同期の大木、金子、藤森、村山君と小生で原案を練った。世話役に現役時代の企画担当だった真尾君と、地元仙台で仕事をしている手戸君を選び、具体的な行動へ移った。住所不明の人は手分けして調べた。会場は、懐かしい蔵王山麓の遠刈田温泉にあるペンション「マイポケット」を貸切りとした。

夕刻、カラマツ林の中のペンションへ、古いダジャレ「とおがったなー」と言いながら到着。風呂に入る者、散歩する者、テラスで話をする者と最初は分かれていたが、いつの間にかテラスにみんな集まり、プレ宴会となってしまった。

発起人代表として上田が口火を切り、鈴木先生ご夫妻のご挨拶のあと、一番遠方の長崎からはせ参じた大釜君が、乾杯の音頭を取った。おいしい料理を食べ、酒を飲みながらの歓談が始まり、参加者の近況や、参加できなかった同期生の話などがつぎつぎと出てきた。「青葉萌ゆる」で中締めした頃にはすっかりワグネル時代のコンパになってしまった。その後、手戸君が製作したスライド「思い出コーナー」があり、鼻の奥がツーンとくるような感じを味わった人が多かったようであった。貸切りの気安さから、夜遅くまで飲み、騒ぎ、まるで20年間のプランクを取り戻そうとしているかのようであった。

翌朝も快晴。起きる時間は、日頃の習性からバラバラ。マイクロバスで蔵王登山。墜落したのか、賢くなったのか。その中で、山岸君一人だけはなぜか登山靴をはいてきていた。昔と変わらない不思議な色のお釜の五色沼を見、遠く大東、小東、南蔵王などを眺め(ほとんど山の名前は忘れていた)、山形側へ下山。蔵王温泉で昼食。ケーブルカーが運休中のため、山形蔵王登山は断念。時間つぶしに散策していると、撮影会をしているグループがあった。我々も手戸君を講師に即席の撮影会を開いたが、モデル不足はどうにもならず。

笹谷峠の手前でひと休み。ビールを飲みながら、炭焼きのニジマスにかじりついた。昔テントサイトとしていた笹谷峠(なぜか反射的に旧練のコンソメスープを思い出す)はトンネルの上。あっという間に宮城県へ入ってしまう。

予定どおりに仙台駅に到着。ワグネル時代の4年間の思い出は、1泊2日の短い時間で、走馬燈のように頭の中を巡っていった。次の25周年の再会を約束し、仕事と家庭が待っている所へと、それぞれ帰途についた。

最後に、忙しい中いろいろ骨を折ってくださった真尾君、文集作りや写真の配布までしていただいた手戸君、お手伝いくださった八重樫さんに心から感謝し、また、特別にご参加くださいました鈴木先生ご夫妻にお礼申し上げます。

参加者; 五十嵐(桐生)、石川(藤沢)、大木(筑波)、大釜(長崎)、大山(酒田)
八重樫((旧姓)片岡、仙台)、金子(大宮)、国岡(仙台)、手戸(亶理)
真尾(青森)、村山(横浜)、山岸(太田)、山口(息子と一緒に、柏)、
上田((旧姓)佐々木、札幌)、鈴木禄弥先生ご夫妻

次回予定 関東地区で(幹事; 村山、大木、金子君を中心に)

このごろのワンゲル

第10期(昭和46年卒) 部長 野家 啓一

OBの皆様方にはお変わりなくご活躍のことと存じます。私の方もワンゲルの部長をお引受けしてから早や2年が経ち、この間大きな事故もなく活動を続けることができ、ほっとしているところです。もちろん山登りという基本は変わっておりませんが、時代と共にクラブの雰囲気はだいぶ様変わりしていますので、簡単に近況をお伝え致します。

現在のところ現役部員は約40名ですが、ここ数年わずかずつ減少しているのが気がかりなところ。人数が少ないせいか、コンパやファイヤーも我々の頃と比べると小じんまりしたものになっており、いささか寂しい気がしています。一時は増えていた女子部員も、今年度は4年生1人だけになってしまい、来年は再びゼロになってしまいそうな雲行きです。これも、重い荷物を背負って苦勞しながら山登りするよりは、テニスやゴルフを自由に楽しみたいという、最近の学生の風潮からくるものなのか、少々残念な思いです。

夏合宿が活動の中心であることには変わりありませんが、最近は集中形式をとることはめったにありません。今年、日高山系と北アルプスに分散形式で4パーティが入りました。プレ合宿で学生1名が骨折事故を起こし、そのパーティはコースを日高から大雪山に変更せざるをえませんでした。本合宿では、全パーティが無事に目標を達成し、成功裏に終わることができました。各パーティの成果についてはそれぞれのリーダーが別に報告しておりますので、後輩の活動ぶりをお読みいただければ幸いです。

このところワンゲルの活動範囲は、部員の技術の向上に伴って「尾根歩き」だけでなく、「沢登り」「雪山」「山スキー」などにも広がってきており、それだけに事故の危険も増大していると言えます。何よりも「安全性」を重視した活動を心がけていきたいと考えておりますので、今後ともOBの皆様のご支援とご鞭撻をお願いする次第です。

最後に、私自身の近況ですが、今年でついに40歳を迎えたせいか、大学でも学会でも「何とか委員」という役が回ってくる年齢になり、公私ともに多忙を極めた1年でした。それでも夏休みには暇を見つけて、女房の裕子(14期OB)と一緒に八ヶ岳(赤岳、横岳、碓黄岳)に登り、久しぶりに山の気分を満喫することができました。しかし、トレーニング不足のせいか、体力の衰えは隠せず、帰ってきてからはそのショックもあって、9階(!)にある研究室まで、エレベータを使わずに登り降りする訓練を続けているこの頃です。OBの皆様のご健康をお祈り致します。

夏合宿をふりかえって

プレ合宿の事故について

主将 中島健太郎

今年の夏合宿は、知床(ヤブ、沢)、北日高(沢、縦走)、南日高(沢)、北アルプス(縦走)で行う予定でした。しかし、南日高Pがプレ合宿中に事故を起こしたので、大雪縦走に変更しました。合宿に入ってからはいよいよ暑い天気にも恵まれ、どのパーティも予定どおり終えました。

事故は、船形矢尽沢左股を遡行中に起きました。滝(F1)に登る途中、トップのサブリーダー山川が約2m滑落して左手を強打し、中指と薬指を骨折しました。幸い、入渓してすぐのことであり、大事に至りませんでした。現在は、全快しています。

最近、沢に対する関心が高く、夏合宿の半数以上のパーティがなんらかの形で沢を取り

入れています。沢における安全確保は、我々も十分に注意しました。具体的には、普段のトレーニングの管理、技術のチェック、さらには三ツ道具の導入などを行ってきました。それにもかかわらずこのような事故を起こしたことについては、大変申し訳なく、深くお詫びいたします。

今後も、夏合宿に沢を取り入れていくことになるでしょうが、安全の確保には十分気をつけていきたいと思っています。

季節はもう秋から冬に移り、東北の山々からは根雪の便りが届くようになってきました。最終ワンデリングも終わり、2年生達は次の夏合宿に向けて胎動を始めています。彼らの動きを、期待を込めて見守ろうと思っています。

はるかなる知床の岬

知床P 中山 武

わがPは、知床のヤブと沢（ポンルシャ川とコタキ川）にいどみました。しかし、残念なことに、行程の半ばにして病人が出たため、エスケープをきるという結果になってしまいました。発病後は、停滞して回復を待ちましたが、体力の消耗が激しく、知床沼にたどり着くのがやっとでした。岬に着いた時の感動、それだけを支えにしてヤブこぎをしてきたので、岬を断念した時には本当に無念でした。それでも、パーティの雰囲気はよく、魅力あふれる知床の山々は、夏合宿の醍醐味を存分に味あわせてくれました。

現在、「ヤブ」は小数派ですが、この知床Pが「ヤブ全盛」への一つのステップとなれば、と願っています。

原始性を求めて

北日高P 水戸瀬 賢悟

歴船川から幌尻山荘までの、沢と稜線をつなぐ13日間は、連日晴天に恵まれ、会心の合宿となりました。1日の行動時間を短くし、ひたすら沢とたわむれる日々でした。ゴルジュ帯を巻くのに1日かかったり、アップダウンの連続する主稜線を12時間歩いた日もありました。

酒を飲んで暴れる1年、雲海が赤く染まらないと落ち込む2年、テクニシャンを自負するSLなど。パーティの7人は皆个性的で、毎晩にぎやかな夜を過ごしました。

最後の日、約40キロの林道を歩き始めた時には、さすがに意気消沈しました。今思い返してみると、いろいろと幸運な山行でした。

大雪山のシルエット

南日高P 中島 健太郎

日が昇るとともに、石狩平野に浮かび上がった三角形のシルエット。旭岳の日の出である。そして、五色岳に登った瞬間に見た、まるで王冠のようなトムラウシ。いずれも忘れることができません。

黒岳からトムラウシまでの7日間は雲一つない快晴に恵まれ、雄大な大雪の魅力を思う存分味わいました。また、メンバーの協力により、本当に充実した夏合宿ができました。

プレ合宿の事故のため、予定を南日高から大雪に変えました。沢をやるパーティとして1, 2年生を募っただけに、彼らを南日高の沢に連れていくことができなかつたことだけが、残念です。

日本の屋根を歩いて

北アルプスP 伊藤 学

野口五郎岳から雲の平を経て、槍ヶ岳、穂高岳と北アルプスを縦走しました。今年は残雪が多く、所々登山道が雪で埋まっていた。祖父岳と雲の平の間、双六岳と双六小屋の間の急斜面には迂回路ができていました。サイテングラードもすべて雪に埋まっていた。その分、水に不自由しなかったのは幸いでした。

総勢10名のうち、1年と3年が4名づつであり、間の2年が大変苦勞していました。後半は、台風11~13号の進路と、槍穂の難路に心勞が絶えませんでした。しかし、雄大な山々と仲間との日々は、初めてのリーダーの重さとともに忘れることはないでしょう。

近況報告

麦草峠のすぐ下にスキー場が出来たので冬も泊るほうに少し金をかけて佐藤花の手直しをしました。今まではスキマ風か入って厳冬期にはほとんども使えなかったところですが今は暖くて快適です。2月には桜君と原田君の家族12人で2泊3日のスキーを楽しみました。小生は生れて初めての初心者スキーですが、桜君のは相当年期の入った本格派です。

来年12月の連休には皆が出陣する予定です。そのつもりで今年の秋は深山薪を七割とおきました。風呂の窓から雪景色が見えるようになってたのが自慢です。おしかつとる来下文。(1989, 11)

後藤 龍男 (39 年卒)

前略、新潟県に集まる皆様には大変ご迷惑おかけしています。東京から離れた5年になります。

4国に来たら、八十八ヶ所の聖地巡りのおかげで、海岸線は殆んど津で回わり、色々行く所が無い位になってしまいました。改めて山登りでしようかなと思いついています。

10月15日

高崎 幸三 (56 年卒)

昨年、今年と会社トリム登山で御在所迄(鈴鹿連峰)に。小(共達)は4.13.4枝)は、会社支給のお菓子につられ今年も参加。昨年はアウレバ川雨でロープウェイで降りたが、今年は快晴中。先ず4枝においでなさい。最新で電歩交通したのが今年収穫。

仁藤 祥一 (47 年卒)

役所勤めで、しつこく転勤力が今回の転勤が一番変化が大きい。F3だ、(ニは2、研究所が現場、セルでの技術協力専任積変化はあたりど)。仕事は、200名の部下が3名になり、毎週専用車付きから大財産活し、仕事以外では、単身生活解消のかわり、ゴルフ、マージョ、酒(カウチケ)他の不祥事案がほとんどなくなった。甘房が茶散る場所が無く、おかしくなるのはいいかと心配している。今のところ、山歩でもは思っている。今のところ、多摩川の土手を鬼子の自転車で走り回っている。先日は立川の園芸公園まで行った。

41年卒 真倉 肇

齊藤 進 (42年卒)

城山町で発見 !!

凡そ15年ほど前 岡山で消息を絶ち、一部でその安否が気づかれていた齊藤進は、神奈川県城山町に一家4人で無事棲息している事が、このほど同町に住む渡辺文隆によってかくにんされた。

ワタナベ氏によると、今年高一になる氏の息子がサイトー氏の令嬢と同じクラスで、二人はこの夏の高校野球で仙台育英を応援しているのが自分達だけであることに気づきその理由について情報を交換するうち互いの父親の共通点を発見、父親に報告した。

始めは笑って相手にしなかったワタナベ氏も、そのサイトーなる人物が昨年岡山から引っ越してきたこと、そして勤務先がカルピスとなるにおよんでやっと「そのサイトーは あのサイトーかもしれないぞ!」と訳のわからぬことを叫び出したという。

まことに、じんせいはあざなえる縄のごとし・・・
渡辺、齊藤、両氏がその後早速家族連れで一晩飲み明かした事は特に記すほどのことでもない。

(発信: TUWV・OB会 城山支局)

ORIGINAL
DRIVE
COURSE



前略.先輩諸兄には益々御活躍の事と存じます。此度 '89/9/1 から

大同特殊鋼(株)研究開発本部新素材研究所
(名古屋南区大同町2-30, TEL 052-611-2511)

に勤務しております。甘房、娘(高2)、息子(中2)を
含め、約1/4世紀を過ぎた仙台を離れるには
多少の抵抗もありませんが、今しばらくは単身生活
を謳歌している状況です。当社では NIJ形状
記憶合金の開発製造に携わっています。大学
時代の仕事と密接に関連している事から、やり易
面もありますが、大学時代の自由度(時間の選
定、出勤時刻等)も結構懐かしく感じています。

御用事は連絡下さい。

名古屋にお集の際は是非御連絡頂ければ
幸いです。 草々

44年度卒、守護 嘉良

北海道のなかでコンクリート製品や生コンクリ
ートを製造しておりますが、この三年間はフロン
の風が吹いていて仕事は順調ではあ、将来の
ためにリストラ覚悟に懸命になっています。
二つの工場をやめ新しい工場に集約・統合したり、
カーテンウォールというコンクリート建坪と生産はしめ
たり、相違するの金銭感覚の生活です。山登り
はしたかたで出来ませんので、ゴルフ、テニス、スキー
してストレスを解消している近年です。自宅は
札幌でありますが 管線 米道の外には （F1）
（F2） 建設

上田 俊 朗

新年会のお知らせ

新年会は毎年1月の最終金曜日（平成2年は1月26日（金）19：00から）、新橋駅のすぐ近くにある新橋亭（しんきょうてい）で行っています。皆さんお誘いの上ご出席下さい。特に、若い人の出席は大歓迎です。会費は7000円位の予定です。年が明けたら、各代の連絡係の方を通じて出欠を調べますので、よろしくお願ひします。

遠くの方でも、東京に出張などで来るような場合には、ぜひ出席して下さい。飛び込み大歓迎です。反対に、出席ということになっているのに、当日欠席される方も結構います。これは本当に幹事泣かせです。予定が変わった時は、早めにご連絡下さい。

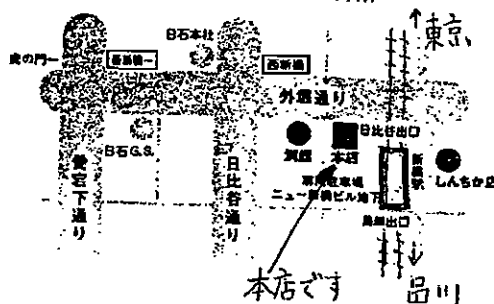
問い合わせ、連絡先 佐藤拓哉 Tel 0468-41-8622

平成元年新年会出席者

- (S39) 岡好宗、後藤龍男、松木功
- (S40) 及川捷、小原佑一、島崎質、関川利男
- (S41) 横山雄一郎 (S42) 安達文夫、
加藤邦明、加藤忠夫、駒村光弥、桜井正久、
渡辺文隆、青木祐二 (S43) 大木芳正、
金子清敏、藤森英和、上田俊郎
- (S44) 小笠原弘三、佐藤良子、佐藤拓哉
宮下美恵子、三日月道夫、水上俊彦
- (S45) 富川正夫 (S46) 薄木三生、
高野秀夫 (S48) 神山文範、松井一昭
- (S49) 岡部安水、村山英司
- (S53) 宿崎和彦 (S58) 坂口謙史
- (S62) 山室真 (S63) 平塚晶人

中国料理 **新橋亭**

本店 東京都港区新橋2-6-3 〒105
TEL (03)580-7811
年中無休 12:00P.M~9:30P.M



63年度会計報告

収 入

繰越金	649,659
OB会費	59,000
利息	1,466
雑収入	6,828
計	716,953

支 出

新年会案内	1,200
会報No19号	45,640
名簿作成	2,155
次年度繰越	667,958
計	716,953

★★ 編集後記 ★★

- ◇会報20号をお届けします。このところOB山行を休んでいたのので、会報にも山の話が不足していました。今回は、現役の活動状況を載せてみました。20年程前にも、トムラウシを見て感動した先輩がいたことを思い出します。時代が変わり、活動の形態が変わっても、山を愛する心には、変わらないのを感じます。
- ◇年会費は1000円です。1ページ目の口座に振り込んで下さい。最近、新年会に参加した人から集めているだけという状態です。
- ◇住所変更した人は佐藤までお知らせ下さい。
- ◇新年会で会いましょう。